

事業所名

児童デイサービスセンターおひさま（児発）

支援プログラム

作成日

令和6年

1月

10日

法人（事業所）理念		「子どもの最善の利益の尊重」を念頭に社会的包摂（ソーシャルインクルージョン）を実現する法人を目指します。 (1) 広く国民の税金で運営の多くを支えられている事を常に自覚し、日本国憲法に基づき、国民（地域）の福祉に貢献します。 (2) 「子どもの最善の利益を実現する」ために先駆します。 (3) 利用者（サポートを必要とする人）の主体性を尊重し、常に利用者の福祉を第一に、地域（ボランティア）及び他の事業者とともに利用者にとって最善の福祉サービス（活動）をコーディネートします。 (4) 本法人の資産・人材・経験・知識を独占的に用いることなく、地域の財産として可能な限り広く開放するように努めます。 (5) 職員処遇や福利厚生を充実を図り、地域及び職員の満足度の向上と共に働きがい・生きがいのある社会を作るように努めます。					
支援方針		発達 ゆっくりしているお子さまや障害をお持ちのお子さまのおそび場や日常生活動作の獲得を目標とする場として小集団または、個々に合わせた療育に取り組んでいます。様々な感覚あそびや体を動かす楽しさが実感できるような粗大運動あそびの中で友だちとの関わり、豊かな経験の積み重ねを大切にしています。また、親子一緒に参加する活動となっています。子どもたちは安心して環境の中で療育に参加し、保護者の方には子どもの理解や子どもの発達段階に合った関わりをスタッフと一緒に見つけ、親子で楽しむ場となっています。					
営業時間		9時	30分	16時	30分	送迎実施の有無	あり <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">なし</span>
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>食事、排泄、着替え等を通して、日常生活動作の確立を行います。</li> <li>給食時間を通して、食具の使い方や食事への意欲を高める関わりをします。</li> <li>活動前の自由遊びを通して、覚醒リズムを整え、生活習慣を整えます。</li> <li>構造化された環境の中、子どもたちが安心して活動に参加できるようにします。</li> </ul>				食事：スプーン、フォーク、箸への指導、排泄、着衣着脱、清潔及び安全 給食・クッキング 活動前の自由遊び 絵カード、活動室内の環境構成	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>感覚統合理論に基づき、感覚統合を促す遊びを取り入れ、感覚の特性（感覚過敏や鈍麻）への対応を行います。</li> <li>運動機能の発達を支援します。（部位および立位の姿勢保持）</li> <li>様々な道具を用いて、微細運動・粗大運動の両方を支援できる環境を整えます。</li> </ul>				スライム・小麦粉・片栗粉・パン粉・泡あそび等 大型マット・トランポリン・サイバーホイール・サーキット・おさんぽ等 フィットシーソー・プールあそび・製作あそび等	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>行動療法に基づいて適切な行動に結びつけられるようにします。</li> <li>形の認識や道具の使い方をできるようにします。</li> </ul>				絵カード・ルールあそび カレンダー作り・誕生会（製作活動・マッチング・はさみ・のり等）	
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>S.O.U.Lを基本姿勢とし、インリアルアプローチの考え方を基本としています。</li> <li>咀嚼・嚥下等の口腔機能及び発語の援助を行います。</li> <li>非言語的コミュニケーションの指差しやジェスチャー、サイン、絵カード等のコミュニケーション手段を活用し、子どもに合わせた視覚的な支援を行います。</li> </ul>				お集まり・自由あそび・給食	
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>インリアルアプローチの視点での関わりを基本とし、小集団活動を通して年齢に応じて丁寧に繰り返し行います。</li> <li>集団への参加及び他児への関心が持てるように集団生活への適応の訓練を行います。</li> <li>自己理解とコントロールの為の支援を行い、ソーシャルスキルを身に付けます。</li> </ul>				ルール・ゲームあそび	
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族通園を通して、子どもへの関わりをともに考えます。また、子育てに関する困りごとに対する相談、援助を支援場面において一緒に考えます。</li> <li>懇談会にて、就園・就学の流れ等学んでもらい、知る機会を作ります。</li> <li>懇談会にて、先輩保護者との交流の機会を設け、将来的な不安の軽減や見通しが持てるようにします。</li> </ul>				移行支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>併行通園している保育園・幼稚園・認定こども園と年2回幼保連絡会にて、情報共有を行います。</li> <li>就学前に、保育園・幼稚園・認定こども園と就学予定先の学校と幼保小連絡会にて情報共有を行います。</li> <li>懇談会にて、就園・就学の流れ等学んでもらい、知る機会を作ります。</li> </ul>	
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>併行通園している保育園・幼稚園・認定こども園と年2回幼保連絡会にて、情報共有を行います。</li> <li>関係機関との連携を定期的に図ります。また、ケースに応じて関係機関と連携を図ります。</li> <li>こども部会への参加や基幹相談支援センター、保健センターと連携を図ります。</li> </ul>				職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>CDSの研修や公開療育等へ参加します。</li> <li>事業所内での勉強会や法人合同の園内研修、年4回の総括等を通して研修の機会を作ります。</li> <li>外部講演会や研修会への派遣や参加を行います。</li> </ul>	
主な行事等	はじまりの会・種まき・田植え・あいがも放鳥・田植え・稲刈り・親子遠足（年3回）・川あそび・おひさまスポーツDAY・もちつき会・クリスマス会・避難訓練・おわりの会 おひさま懇談会（年4回）・幼保連絡会（年2回）・幼保小連絡会（年1回）						

事業所名

児童デイサービスセンターおひさま(放デイ)

支援プログラム

作成日

令和6年

1月

10日

法人(事業所)理念		「子どもの最善の利益の尊重」を念頭に社会的包摂(ソーシャルインクルージョン)を実現する法人を目指します。 (1) 広く国民の税金で運営の多くを支えられている事を常に自覚し、日本国憲法に基づき、国民(地域)の福祉に貢献します。 (2) 「子どもの最善の利益を実現する」ために先駆します。 (3) 利用者(サポートを必要とする人)の主体性を尊重し、常に利用者の福祉を第一に、地域(ボランティア)及び他の事業者とともに利用者にとって最善の福祉サービス(活動)をコーディネートします。 (4) 本法人の資産・人材・経験・知識を独占的に用いることなく、地域の財産として可能な限り広く開放するように努めます。 (5) 職員処遇や福利厚生充実を図り、地域及び職員の満足度の向上と共に働きがい・生きがいのある社会を作るように努めます。							
支援方針		発達のゆっくりしているお子さまや障害をお持ちのお子さまのあそび場や日常生活動作の獲得を目標とする場として小集団または、個々に合わせた療育に取り組んでいます。様々な感覚あそびや体を動かす楽しさが実感できるような粗大運動あそびの中で友だちとの関わり、豊かな経験の積み重ねを大切にしています。							
営業時間		9時	30分	16時	30分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	・食事、排泄、着替え等を通して、日常生活動作の確立を行います。また、手段的日常生活動作の確立を行います。 ・給食時間を通して、食具の使い方や食事への意欲を高める関わりをします。 ・活動前の自由遊びを通して、覚醒リズムを整え、生活習慣を整えます。 ・構造化された環境の中、子どもたちが安心して活動に参加できるようにします。				食事:スプーン、フォーク、箸への指導、排泄、着衣着脱、清潔及び安全 給食・クッキング 活動前の自由遊び 絵カード、活動室内の環境構成			
	運動・感覚	・感覚統合理論に基づき、感覚統合を促す遊びを取り入れ、感覚の特性(感覚過敏や鈍麻)への対応を行います。 ・運動機能の発達を支援します。(部位および立位の姿勢保持)  ・様々な道具を用いて、微細運動・粗大運動の両方を支援できる環境を整えます。				スライム・小麦粉・片栗粉・パン粉・泡あそび等 大型マット・トランポリン・サイバーホイール・サーキット・おさんぽ等 フィットシーソー・プールあそび・製作あそび等			
	認知・行動	・行動療法に基づいて適切な行動に結びつけられるようにします。 ・形の認識や道具の使い方を知ることができるようにします。				絵カード・ルールあそび カレンダー作り(製作活動・マッチング・はさみ・のり等)			
	言語 コミュニケーション	・SOULを基本姿勢とし、インリアルアプローチの考え方を基本としています。 ・咀嚼・嚥下等の口腔機能及び発語の援助を行います。 ・非言語的コミュニケーションの指差しやジェスチャー、サイン、絵カード等のコミュニケーション手段を活用し、子どもに合わせた視覚的な支援を行います。				お集まり・自由あそび・給食			
	人間関係 社会性	・インリアルアプローチの視点での関わりを基本とし、小集団活動を通して年齢に応じて丁寧に繰り返していきます。 ・自己理解とコントロールの為の支援を行い、ソーシャルスキルを身に付けます。 ・話し合い活動を通して、意見を伝えることや相手の思いを知り合わせる経験を積む中で、子どもの主体性を大切に活動を行います。 ・充実した余暇活動に繋がるような活動を考えます。				ルール・ゲームあそび 話し合い活動 買い物体験・外食体験・公共の場で過ごす経験			
家族支援		子育てに関する困りごとに対する相談、援助を支援場面において一緒に考えます。			移行支援		・放課後等デイサービス利用のお子さんの就学先と年1回、小学校連絡会にて情報共有を行います。		
地域支援・地域連携		・放課後等デイサービス利用のお子さんの就学先と年1回、小学校連絡会にて情報共有を行います。 ・関係機関との連携を定期的に図ります。また、ケースに応じて関係機関と連携を図ります。 ・こども部会への参加や基幹相談支援センター、保健センターと連携を図ります。			職員の質の向上		・CDSの研修や公開療育等へ参加しています。 ・事業所内での勉強会や法人合同の園内研修、年4回の総括等を通して研修の機会を作ります。 ・外部講演会や研修会への派遣や参加を行います。		
主な行事等		親子遠足(年3回)・川あそび・おひさまスポーツDAY・遠足(公共交通機関を利用)・買い物体験・外食体験・もちつき会・クリスマス会・避難訓練・おわりの会 おひさま懇談会(年4回)・小学校連絡会(年1回)							